



2019 年 12 月

目次

購入方法.....	2
ライセンス プログラム.....	2
ライセンス方法.....	2
マルチプレキシング (多重化)	2
Power Apps サブスクリプション	3
Power Apps.....	3
Power Apps Portals.....	7
Power Automate サブスクリプション	9
Power Virtual Agents サブスクリプション.....	13
サブスクリプション キャパシティ.....	14
キャパシティ アドオン.....	15
Common Data Service のキャパシティ アドオン.....	15
AI Builder キャパシティ アドオン	16
Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン.....	17
Power Virtual Agents キャパシティ アドオン.....	17
トライアルと実装.....	18
価格.....	18
付録 A: 用語とカスタム エンティティ	19
付録 B: プレミアム カテゴリに移動された標準コネクタ	21
付録 C: ライセンス チャネルと対象セグメント.....	22
付録 D: Power Apps および Power Automate の機能を含む Dynamics 365 および Office 365 ライセン ス.....	23
付録 E: 変更履歴.....	24

このガイドの使用について

このガイドは、Microsoft Power Apps、Power Automate (旧称 Microsoft Flow)、Power Virtual Agents のライセンスについて理解を深めることを目的としています。

また、マイクロソフトの製品やサービスの選択に影響を与えることを意図したものではありません。このガイドで取り上げる例は説明のみを目的としています。マイクロソフトは予告なくいつでもこのガイドの見直しや更新を行う権利を留保しています。

このガイドは、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents ライセンスを取得したユーザーを対象としています。

このガイドはライセンス要件について理解を深めることを目的としており、以下の章で構成されています。

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1) 更新内容 | 4) アドオン |
| 2) チャンネルのライセンス (購入方法) | 5) 注意点、変更点 |
| 3) ライセンス方法 (製品ライセンス) | |

個々の製品やシナリオにおけるライセンス要件をはじめとする、特定の組織にとって適切なテクノロジーソリューションを確認するには、マイクロソフト アカウント チームまたはマイクロソフト認定パートナーにご相談ください。このガイドは、使用権について規定するいかなる法的ドキュメントにも優先するものではなく、また、これらに置き換わるものでもありません。

更新内容

このライセンス ガイドには、ライセンスに関する更新について、2019 年 12 月時点での最新の内容が反映されています。具体的な変更点については、「[付録 E](#)」の変更履歴を参照してください。

12 月の変更内容	説明
Power Automate	Microsoft Flow を Microsoft Power Automate に名称変更
Power Apps	PowerApps の表記を Power Apps に変更
Power Virtual Agents	Power Virtual Agents の一般提供開始に伴い、ライセンスの販売を開始
Power Apps per app プラン - 学生用ライセンス	教育機関のお客様に Power Apps per app プランを教職員および学生向け料金で販売
10 月の変更内容	説明
Power Apps per app プラン	新しいユーザー単位/アプリ単位のライセンス
Power Apps	Power Apps
Power Automate (旧 Flow) per user プラン	Power Automate の新しいユーザー単位のライセンス
Power Automate (旧 Flow) per business process プラン	新しいフロー単位のライセンス
Power Apps Portals	外部/匿名ユーザーのライセンス取得を可能にする新しいキャパシティ アドオン
AI Builder (Power Apps および Power Automate)	アプリやワークフローに AI を組み込むための新しいキャパシティ アドオン
Power Apps および Power Automate キャパシティ	1 日あたりの使用量の上限を引き上げるための新しいキャパシティ アドオン

購入方法

ライセンスプログラム

ライセンスプログラムとは、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents を購入するためのチャネルです。Power Apps、Power Automate、Microsoft Power Virtual Agents のライセンスは、マイクロソフト ボリューム ライセンス (VL)、Cloud Solution Provider (CSP)、Web 直販 (MOSP) の各プログラムを通じて提供されます。Power Apps および Power Automate は、以下のボリューム ライセンスで取得できます。

- Enterprise Agreement (EA)
- Enterprise Agreement Subscription (EAS)
- サーバーおよびクラウド加入契約 (SCE)
- Enrollment for Education Solutions (EES) (Campus and School Agreement に基づく)

その他のチャネル

- Microsoft Online Government
- Microsoft Products and Services Agreement (MPSA)。MPSA の詳細については、[こちら](#)を参照してください。
- Microsoft Online Subscription Program (Web 直販/MOSP)

ボリューム ライセンス プログラムに加入するには通常、契約または登録、あるいはその両方を行い、最小購入要件を満たしたうえで、マイクロソフトのリセラーからライセンスを注文する必要があります。ボリューム ライセンスを通じた購入方法、販売パートナーの検索、その他の詳細については、[マイクロソフト ボリューム ライセンス Web サイト](#)を参照してください。

ライセンス方法

マルチプレキシング (多重化)

マルチプレキシングとは、ハードウェアまたはソフトウェアを使用して、接続をプールしたり、情報の経路を変更したり、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents サービスに直接アクセスするユーザーの数を減らしたりすることを指します。マルチプレキシングを使用しても、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents アプリへのアクセスに必要な SL の数を減らすことはできません。直接的でも間接的でも、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents アプリにアクセスするすべてのユーザーまたはデバイスは適切なライセンスを取得する必要があります。

Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents サービスにアクセスするためには、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents のいずれかのライセンスが必要です。同様に、プールされたデバイスを使用して Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents アプリでデータの入力、クエリ、表示を行うユーザーには、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents ライセンスが必要です。プールされた接続の場合、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents 内ではアプリケーション間のデータ処理を行わないユーザー アカウントが使用されます。このアカウントは、システムへのアクセスが可能ですが、アクセスには Web サービス レイヤーだけを使います。Microsoft Outlook などの個別のサービスのポータルまたは API を経由して Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents サービスを間接的に利用する内部ユーザーも、アプリ内で Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents ユーザーとして設定されているかどうかにかかわらず、以下のように適切なライセンスを取得する必要があります。

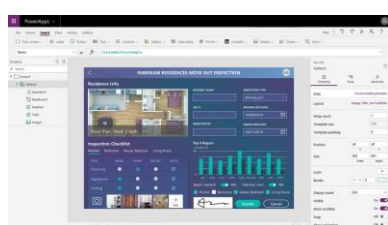
- Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents サービスを利用する内部ユーザーも、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents の適切なライセンスを取得する必要があります。
- 自動プロセスを通じて Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents サービスにアクセスするすべてのユーザーは、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents ライセンスを取得する必要があります。

- Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents アプリと Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents アプリを最終的に利用するユーザーやデバイスとの間に存在するハードウェアやソフトウェアの層の数は、必要となる SL の数に影響しません。

マルチプレキシングの詳細については、「マイクロソフト ボリューム ライセンス簡易ガイド」の[マルチプレキシング \(多重化\) - クライアント アクセス ライセンス \(CAL\) の要件](#)を参照してください。

Power Apps サブスクリプション

Power Apps



サービスの概要

Power Apps は、ほとんどコーディング不要で企業が業務をデジタル化できるアプリケーション プラットフォームです。基幹業務アプリケーションを簡単に構築し、既存の Office 365 および Dynamics 365 アプリケーションをカスタマイズすることができます。詳細については、<https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/> を参照してください。

ライセンスの概要

Power Apps の汎用的なフル機能は、スタンドアロン ライセンスで提供されます。また、Power Apps の限定的な機能は各種 Office 365 および Dynamics 365 ライセンスに含まれています。以下の表に、ライセンス体系の概要を示します。

	ユーザー単位/アプリ単位	ユーザー単位	シードされた Power Apps
ライセンス方法	ユーザー単位/アプリ単位	ユーザー単位	Office 365 および Dynamics 365 のユーザー ライセンスから提供
説明	Power Apps のフル機能を使用して、個々のユーザーが特定のビジネス シナリオ向けのアプリケーション ¹ を実行できる	Power Apps のフル機能を使用して、ユーザーが無制限の数のアプリケーションを実行できる	Office 365 および Dynamics 365 アプリケーションをカスタマイズおよび拡張する

¹各ライセンスにより、エンド ユーザーは 2 つのカスタム アプリを実行し、1 つのカスタム ポータルにアクセスできます。

Power Apps のスタンドアロン ライセンス

プラットフォームの汎用的なフル機能が必要な場合は、Power Apps のスタンドアロン ライセンスを取得してください。ライセンス方法は、「ユーザー単位」と「ユーザー単位/アプリ単位」の両方がサポートされています。両方のスタンドアロン ライセンスでフル機能が提供されます。詳細については、以下をご確認ください。

Power Apps per app プラン

Power Apps per app プランでは、組織のお客様が低価格でプラットフォームの利用を開始できます。Power Apps per app プランのお客様は通常、プラットフォームを全社的に導入する前に、1、2 種類の主要なユース ケース シナリオから開始します。Power Apps per app プランは、少数のアプリしか実行しないエンド ユーザーにライセンスを提供するためのライセンス オプションとしても魅力的です。

Power Apps per app プランでは、個々のユーザーが Power Apps のフル機能を使用して、2 つのカスタム アプリケーション (キャンバス/モデル駆動の一方または両方) を実行し、1 つのカスタム ポータルにアクセスできます。

ユーザー単位/アプリ単位のオファーの概要	
SKU の名称	Power Apps per app プラン
ライセンスの種類	テナント全体のキャパシティ ライセンス
ライセンスの割り当て	製品内
ライセンスの併用可/不可	○

Power Apps per app ライセンスの権利の概要

プランと機能		Power Apps per app プラン
カスタム アプリ/ ポータルの実行	カスタム アプリの実行 (キャンバス/モデル駆動の両方)	アプリ x 2
	カスタム ポータルへのアクセス	カスタム ポータル x 1
データへの接続	標準コネクタ	●
	プレミアム コネクタ	●
	オンプレミス データ ゲートウェイ	●
	カスタム コネクタ	●
データの保存と管理	Common Data Service の利用	●
	カスタム エンティティの作成とアクセス (複雑なエンティティを含む)	●
	Dynamics 365 の制限付きエンティティへのアクセス ¹	読み取り専用
ワークフローの実行	Power Automate の使用权	アプリに関連する 利用枠内
	(クラシック CDS) 非リアルタイムおよびリアルタイムのワークフロー	●
ライセンスあたりの キャパシティ ²	Common Data Service のデータベース キャパシティ ³	50 MB
	Common Data Service のファイル キャパシティ ³	400 MB
	1 日あたりの API 要求の上限 ²	1,000
AI の組み込み	AI Builder キャパシティ アドオン	有償

¹ CDS 内のエンティティが制限付きになるのは、Dynamics 365 アプリケーションが特定の環境にインストールされている場合のみです。

² サービスの上限については、<http://aka.ms/platformlimits> を参照してください。「Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン」を購入すると、1 日あたりのサービスの上限を引き上げることができます。

³ Common Data Service のデータベースおよびファイル キャパシティの権利はテナント レベルでプールされます。

注:

- モデル駆動アプリに埋め込まれたキャンバス アプリは、2 つのアプリという制限にカウントされません。
- 単一のユーザーが複数の「per app」ライセンスを取得すると、per user ライセンスがなくても、さまざまなビジネス シナリオを対象とした複数のソリューションを使用できます。
- Power Apps per app ライセンスのプールを購入したら、個々のライセンスを特定の環境や個々のユーザーに割り当てる必要があります。
- 教育機関のお客様は、Power Apps per app プランを教職員および学生向け料金で購入できます。これらのライセンスはテナント レベルのキャパシティとして販売され、Active Directory のユーザーには割り当てられないため、お客様やパートナーが責任を持って、学生向け料金が学生だけに適用されていることを確認する必要があります。つまり、ライセンスを学生向け料金で購入した場合、その製品の学生以外のユーザー (教職員) に対して、購入した教職員用ライセンスの数よりも多くのアプリ ライセンスを割り当てることはできません (教職員に学生用ライセンスを割り当てたことになるため)。

Power Apps per user プラン

Power Apps per user プランでは、ライセンスを取得したユーザーが Power Apps のフル機能を使用して、無制限の数のカスタム アプリケーションを実行できます。

ユーザー単位のオファアの概要	
SKU の名称	Power Apps per user プラン
ライセンスの種類	ユーザー ライセンス

Power Apps per user ライセンスの権利の概要

プランと機能		Power Apps per user プラン
カスタム アプリ/ ポータルの実行	カスタム アプリの実行 (キャンバス/モデル駆動の両方)	無制限
	カスタム ポータルへのアクセス	無制限
データへの接続	標準コネクタ	•
	プレミアム コネクタ	•
	オンプレミス データ ゲートウェイ	•
	カスタム コネクタ	•
データの保存と管理	Common Data Service の利用	•
	カスタム エンティティの作成とアクセス (複雑なエンティティ)	•
	Dynamics 365 の制限付きエンティティへのアクセス ¹	読み取り専用
ワークフローの実行	Power Automate の使用权	アプリに関連する 利用枠内
	(クラシック CDS) 非リアルタイムおよびリアルタイムのワーク	•
ライセンスあたりの キャパシティ ²	Common Data Service のデータベース キャパシティ ³	250 MB
	Common Data Service のファイル キャパシティ ³	2 GB
	1 日あたりの API 要求の上限 ²	5,000
AI の組み込み	AI Builder キャパシティ アドオン	有償

¹ CDS 内のエンティティが制限付きになるのは、Dynamics 365 アプリケーションが特定の環境にインストールされている場合のみです。

² サービスの上限については、<http://aka.ms/platformlimits> を参照してください。「Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン」を購入すると、1 日あたりのサービスの上限を引き上げることができます。

³ Common Data Service のデータベースおよびファイル キャパシティの権利はテナント レベルでプールされます。

Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Apps の使用权

ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリケーションと同じ環境内には Power Apps の限定的な使用权が含まれており、ユーザーが Dynamics 365 アプリケーションをカスタマイズおよび拡張することができます。Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Apps の機能の使用は、ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリケーションに関連する利用枠内に制限されています。さらに、具体的な使用权は Dynamics 365 のライセンスの種類によって異なります。

Dynamics 365 アプリケーションに含まれる Power Apps の使用权

機能		Dynamics 365 アプリケーション 1	Dynamics 365 Enterprise アプリケーション 2
カスタム アプリ の実行 ³	スタンドアロン アプリの実行 (キャンバス/ モデル駆動)	-	ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリケ ーションと同じ環境内
データへの接続	既成コネクタ (標準、プレミアム) の使用	●	●
	カスタムおよびオンプレミス コネクタの使用	●	●
データの 保存と管理	Common Data Service の利用	●	●
	カスタム エンティティの作成とアクセス	アプリケーション につき最大 15 個	●
ワークフローの 実行	Dynamics 365 の制限付きエンティティの使用権	作成/読み取り/更新/削除	作成/読み取り/更新/削除
	Power Automate の使用権	アプリに関連する 利用枠内	アプリに関連する 利用枠内
AI の組み込み	(クラシック CDS) 非リアルタイムおよびリアル タイムのワークフロー	●	●
	AI Builder キャパシティ アドオン	有償	有償
Power Apps Portals の使用権	スタンドアロンの Power Apps Portals の使用権	-	ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリケ ーションと同じ環境内

¹ Dynamics 365 Sales Professional、Dynamics 365 Customer Service Professional、Dynamics 365 Talent: Onboard、Dynamics 365 Team Members、Dynamics 365 Operations - Activity、Dynamics 365 Business Central Team Members

² Dynamics 365 Sales Enterprise、Dynamics 365 Customer Service Enterprise、Dynamics 365 Field Service、Dynamics 365 Project Service Automation、Dynamics 365 Finance、Dynamics 365 Supply Chain Management、Dynamics 365 Retail、Dynamics 365 Talent、Dynamics 365 Business Central

³ Power Apps および Power Automate の使用量は、Dynamics 365 ライセンスの API 要求の上限にカウントされます。サービスの上限については、<http://aka.ms/platformlimits> を参照してください。「Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン」を購入すると、1 日あたりのサービスの上限を引き上げることができます。

Office 365 ライセンスに含まれる Power Apps の使用権

一部の Office 365 ライセンスには Power Apps の限定的な使用権が含まれており、ユーザーが Office 365 をカスタマイズおよび拡張して生産性シナリオを実現することができます。Power Apps の使用権が含まれる Office 365 ライセンスの一覧については、「[付録 D](#)」を参照してください。

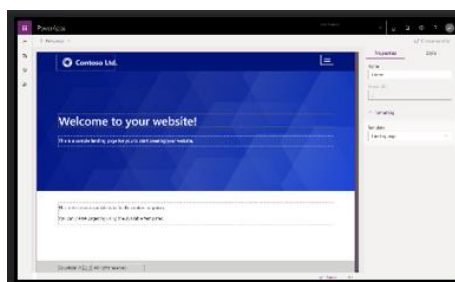
Office 365 ライセンスに含まれる Power Apps の使用権

機能		Office 365
カスタム アプリ/ポータル の実行	カスタム アプリの実行 (キャンバス アプリ)	無制限
	カスタム アプリの実行 (モデル駆動アプリ)	-
	カスタム ポータルへのアクセス	-
データへの接続	標準コネクタ (「 付録 B 」を参照)	●
	プレミアム コネクタ	-
	オンプレミス データ ゲートウェイ	-
	カスタム コネクタ	-
データの保存と管理	Common Data Service の利用	-
	カスタム エンティティの作成とアクセス (複雑なエンティティを含む)	-
ワークフローの実行	Power Automate の使用権 (Office 365 に含まれる Power Automate の セクションを参照)	●
ライセンスあたりの キャパシティ ² (すべての Power Apps および Power Automate の使用量で 共通のキャパシティ)	Common Data Service のデータベース キャパシティ ¹	-
	Common Data Service のファイル キャパシティ ¹	-
	1 日あたりの API 要求の上限 ²	2,000

¹ Common Data Service のデータベースおよびファイル キャパシティの権利はテナント レベルでプールされます。

² 使用量の上限の詳細については、<http://aka.ms/platformlimits> を参照してください。「Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン」を購入すると、1 日あたりのサービスの上限を引き上げることができます。

Power Apps Portals



サービスの概要

Power Apps Portals では、Common Data Service のデータを基盤とするスタンドアロンの外部向けポータルを作成できます。Power Apps Portals の詳細については、<https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/powerapps-portals/> を参照してください。

ライセンスの概要

Power Apps Portals インスタンスのプロビジョニング

Power Apps Portals インスタンスは、お客様がオンデマンドでプロビジョニングできます。Portals インスタンスをプロビジョニングすると、使用可能な (未使用の) Common Data Service のデータベース キャパシティから 1 GB が消費されます。そのため、追加の Portals インスタンスのプロビジョニングの上限は、使用可能な Common Data Service のデータベース キャパシティのみによって決まります。

Power Apps Portals インスタンスの使用

Power Apps Portals インスタンスにアクセスするエンド ユーザーごとに、適切なライセンスを取得する必要があります。以下の表に、エンド ユーザーの種類の概要を示します。

エンド ユーザーの種類	説明	ユース ケースの例
外部ユーザー (認証済み)	Azure AD、LinkedIn、Okta などの認証メカニズムを利用して、パーソナライズされたデータへの安全なアクセスを取得する	<ul style="list-style-type: none">• B2B - パートナー管理 (ディーラー、サプライヤー、フランチャイズなど)• B2C - アカウント管理など
匿名ユーザー	ポータルで公開されている Web ページにアクセスする	ナレッジ管理サイト
内部ユーザー	Power Apps または Dynamics 365 のライセンスを取得したユーザー	従業員セルフサービス

ライセンス方法は、エンド ユーザーの種類によって異なります。

エンド ユーザーの種類	ライセンス モデル	説明
外部ユーザー (認証済み)	Per login	1 回のログインにより、認証済みのユーザーは単一のポータルに最大 24 時間アクセスできます。24 時間中に複数回ログインした場合は、請求対象のログイン 1 回分とカウントされます。ログインは、単一の Power Apps Portals へのワンデー パスのようなものだとお考えください。
匿名ユーザー	Per page view	
内部ユーザー	<ul style="list-style-type: none">• ライセンス料を支払うことで、Power Apps Portals にアクセス可能• 追加料金はなし	カスタム ポータルの使用権は、カスタム アプリの使用権に従います。

Per login モデル

Power Apps Portals インスタンスで認証済みの外部ユーザーのシナリオを実装する場合は、使用量の予測に基づいて、適切なログイン キャパシティを購入してください。認証済みの外部ユーザーのシナリオの対象となるすべての Portals インスタンスで必要なログイン キャパシティを購入してください。

SKU の名称	キャパシティの単位	最小購入数	1 か月あたりの分量	リリース日	チャネル
Power Apps Portals ログイン キャパシティ アドオン	100 回/月	1	100 回	19 年 10 月	すべて
Power Apps Portals ログイン キャパシティ アドオン tier-2		10	1,000 回	19 年 12 月	すべて
Power Apps Portals ログイン キャパシティ アドオン tier-3		50	5,000 回	19 年 12 月	CSP のみ

各アドオンによって月 100 回のログインが提供されます。分量のレベルと対応する SKU は、最小購入要件に基づいて異なります。各レベルについて、最小購入要件を満たした場合に、追加のアドオンを 1 つ単位で購入できます。

たとえば、月に 5,500 回のログインを必要とする場合は、「Power Apps Portals ログイン キャパシティ アドオン tier-3」を 55 個購入します。

キャパシティの適用

Power Apps Portals ログイン キャパシティ アドオン SKU の場合、購入したキャパシティは 1 か月ごとに適用されます。未使用のログインを翌月に繰り越すことはできません。そのため、毎月のピーク使用量の予測に合わせて適切なキャパシティを購入してください。

超過使用分の処理

正当な理由があって時おり超過する分には構いませんが、購入したキャパシティを超過する場合は、コンプライアンスを維持するために、標準的なマイクロソフトの使用条件に従って購入数量を調整してください。

購入したキャパシティの割り当て

Power Apps Portals インスタンスごとの最小割り当てキャパシティは月 100 回です。月 100 回の最小キャパシティを割り当てたら、追加のログインを 1 回単位で追加できます。

Per page view モデル

Power Apps Portals インスタンスで匿名アクセスのシナリオを実装する場合は、使用量の予測に基づいて、適切なページ ビュー キャパシティを購入してください。匿名アクセスのシナリオの対象となるすべての Portals インスタンスに必要なページ ビュー キャパシティを購入してください。

SKU の名称	キャパシティの単位	チャネル
Power Apps Portals ページ ビュー キャパシティ アドオン	100,000 回/月	すべて

各アドオンによって月 100,000 回のページ ビューが提供されます。たとえば、月に 570,000 回のページ ビューを必要とする場合は、「Power Apps Portals ページ ビュー キャパシティ アドオン」を 6 つ購入します。

キャパシティの適用

Power Apps Portals ページ ビュー キャパシティ アドオン SKU の場合、購入したキャパシティは 1 か月ごとに適用されます。未使用のページ ビューを翌月に繰り越すことはできません。そのため、毎月のピーク使用量の予測に合わせて適切なキャパシティを購入してください。

超過使用分の処理

正当な理由があって時おり超過する分には構いませんが、購入したキャパシティを超過する場合は、コンプライアンスを維持するために、標準的なマイクロソフトの使用条件に従って購入数量を調整してください。

購入したキャパシティの割り当て

Power Apps Portals インスタンスごとの最小割り当てキャパシティは月 50,000 回です。最小キャパシティを割り当てたら、追加のページ ビューを 1 回単位で追加できます。

Power Apps Portals - 内部ユーザーの使用権

内部ユーザー (Power Apps または Dynamics 365 ライセンスを取得したユーザー) の場合、実質的にはカスタム ポータルである Power Apps Portals の使用権は、Power Apps のカスタム アプリの使用権に従います。

ライセンス	カスタムの Power Apps Portals の使用権
Dynamics 365 Team Members	なし
Dynamics 365 Operations - Activity	なし
Dynamics 365 Professional ライセンス ¹	なし
Dynamics 365 Enterprise ライセンス ²	<ul style="list-style-type: none"> ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリケーションに関連する利用枠内内の Power Apps Portals ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリケーションと同じ環境内の Power Apps Portals
Power Apps per app	Power Apps Portals x 1
Power Apps per user	無制限の Power Apps Portals
Office 365	なし

¹ Dynamics 365 Sales Professional、Dynamics 365 Customer Service Professional、Dynamics 365 Talent: Onboard

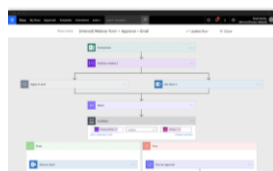
² Dynamics 365 Sales Enterprise、Dynamics 365 Customer Service Enterprise、Dynamics 365 Field Service、Dynamics 365 Project Service Automation、Dynamics 365 Finance、Dynamics 365 Supply Chain Management、Dynamics 365 Retail、Dynamics 365 Talent、Dynamics 365 Business Central

Power Apps Portals の API 要求の上限

1 回のログインごとに、1 日あたりの API 呼び出しの権利がユーザーあたり 24 時間中 200 回に制限されます。匿名のページ ビューは、バックエンド システムの機能を実行することがほとんどないため、ページ ビューにつき最大 3 回の API 呼び出しが許可されます。

これらの API 呼び出しは、ポータルに割り当てられたログイン/ページ ビューの回数に応じて、ポータル レベルでプールされます。

Power Automate サブスクリプション



サービスの概要

Power Automate を使用すると、企業はワークフローやビジネス プロセスを自動化し、業務効率を向上できます。詳細については、<https://flow.microsoft.com> を参照してください。

ライセンスの概要

Power Automate の汎用的な機能は、スタンドアロン ライセンスで提供されます。また、Power Automate の限定的な機能は Power Apps、Office 365、Dynamics 365 の各ライセンスにも含まれています。以下の表に、ライセンス体系の概要を示します。

Power Automate	ユーザー単位	フロー単位	シードされた Flow
ライセンス方法	ユーザー単位	フロー単位 最小購入要件 5 つ	Office 365、Dynamics 365、 Power Apps から提供
説明	個々のユーザーが独自のニーズに基づいて、 無制限の数のフロー を作成できる	フローと予約済みキャパシティを実装し、組織全体で 無制限の数のユーザー が利用できるようにする	Office 365、Dynamics 365、Power Apps のビジネス プロセスとワークフローを自動化する

Power Automate のスタンドアロン ライセンス

ワークフロー/ビジネス プロセス自動化の汎用的なフル機能が必要な場合は、Power Automate のスタンドアロン ライセンスの購入を検討してください。ライセンス方法は、「ユーザー単位」と「フ

ロー単位」の両方がサポートされています。両方のスタンドアロン ライセンスに Power Automate のフル機能が含まれています。詳細については、以下をご確認ください。

Power Automate per user プラン

Power Automate per user プランでは、個々のユーザーが独自のニーズに基づいて、無制限の数のワークフローとビジネス プロセスを作成、実行できます。Power Automate per user プランは、自動化という文化の全社的な導入をサポートすることを目的としています。組織全体で Power Automate per user プランのライセンスを取得すれば、管理者が組織内でアクティブ化/使用されているフローの数を追跡する負担を最小限に抑えることができます。

ユーザー単位のオファーの詳細	
SKU の名称	Flow per user プラン
フローの有効化	無制限
使用量の上限	1 日あたり 5,000 回の API 要求

「Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン」を購入すると、1 日あたりのサービスの上限を引き上げることができます。

Power Automate per business process プラン

Power Automate per business process プランでは、フロー単位でライセンスが提供され、お客様は重要なビジネス プロセスとキャパシティを実装して、チーム、部門、組織全体が利用できるようになります。そのため、ライセンスを取得したフローをトリガーするエンド ユーザーごとに個別にライセンスを取得する必要はありません。

Power Automate per business process プランは、通常は部門内の 1 人のパワー ユーザーがフローをセットアップし、そのフローをグループ内で共有するといったシナリオに最適です。このプランにより、意図的か意図的でないかを問わず、ライセンスを取得したフローの実行をトリガーした各エンド ユーザーにライセンスを取得する必要性が軽減されます。

フロー単位のオファーの詳細	
SKU の名称	Flow per business process プラン
最小購入要件	5 つ
使用量の上限	ライセンスを取得したフローにつき 1 日あたり 15,000 回の API 要求

注:

- すべての種類の有効化された最上位のフローについて、ライセンスを取得する必要があります (スケジュール済みのフロー、自動化されたフロー、インスタント フロー、ビジネス プロセス フロー)。「子」フローのみとして使用されるフロー (別のフローによってトリガーされるフロー) には、追加のライセンスを取得する必要はありません。
- 最上位のフローのライセンスを増やしたい場合は、「Power Automate per business process プラン」を追加購入してください。

現在ライセンスを取得しているフローの使用量のキャパシティのみを増やしたい場合は、「Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン」を購入できます。

プランと機能		Power Automate per user プラン	Power Automate per business process プラン
基本事項	最小購入要件	なし	5 つ
	ユーザー ライセンスの要/不要	○	–
フローの実行	ワークフロー	●	●
	ビジネス プロセス フロー	●	●
データへの接続	標準コネクタ	●	●
	プレミアム コネクタ	●	●
	オンプレミス データ ゲートウェイ	●	●
	カスタム コネクタ	●	●
データの保存と管理	Common Data Service の使用权	●	●
ライセンスあたりの キャパシティ	Common Data Service のデータベース キャパシティ ¹	50 MB	50 MB
	Common Data Service のファイル キャパシティ ¹	200 MB	200 MB
	1 日あたりの API 要求の上限 ²	5,000	15,000

¹使用量の上限の詳細については、<http://aka.ms/platformlimits> を参照してください。「Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン」を購入すると、1 日あたりのサービスの上限を引き上げることができます。

²Common Data Service の追加のデータベース/ファイル/ログ キャパシティは 1 GB 単位で購入できます。Common Data Service のデータベースおよびファイル キャパシティはテナント全体でプールされます。

注: ライセンスの種類に関係なく、スケジュール済みのフローは 1 分おきにトリガーするように構成できます。コネクタでサポートされる以外に、フロー実行の頻度に制限はありません。

Power Apps ライセンスに含まれる Power Automate の使用权

Power Apps ライセンス (「Power Apps per app プラン」と「Power Apps per user プラン」の両方) には Power Automate の使用权が含まれており、Power Apps アプリケーションに関連付けられたワークフローを自動化するために使用できます。

Power Apps 内での Power Automate の使用は、Power Apps アプリケーションに関連する利用枠内に制限されています。つまり、トリガーとアクションの両方について、Power Apps アプリケーションに含まれるフローは以下に接続できます。

- Power Apps アプリケーションの使用权に含まれるデータ ソース
- Power Apps アプリケーション本体 (組み込みのトリガー/アクションを使用)

フローが分離されて Power Apps アプリケーションとは関係がない場合は、Power Automate のスタンドアロン ライセンスを購入する必要があります。

Power Apps アプリケーションに関連する利用枠内の Power Automate の使用例:

Power Apps のスタンドアロン ライセンスを取得しているユーザーが、データ ソースとして SQL DB を使用し、以下に該当するフローを含むアプリを実行する場合。

- SQL DB の読み取りまたは書き込みを行う
- 組み込みの Power Apps トリガー/アクションを使用する (アプリへのプッシュ通知の送信など)

Power Apps アプリケーションに関連する利用枠外の Power Automate の使用例:

上記の例と同じユーザーが、Oracle データベースを更新するフローを使用したいと考え、そのフローが以下に該当する場合。

- Power Apps アプリとは関係がない
- Power Apps アプリ (またはそのデータ ソース) をどのような形でも操作しない

この場合は、Power Automate のスタンドアロン ライセンスが必要になります。

プランと機能		Power Apps ライセンスに含まれる Power Automate の使用権
フローの実行 ^{1, 2}	ワークフロー	●
	ビジネス プロセス フロー	●
データへの接続	標準コネクタ	●
	プレミアム コネクタ	●
	オンプレミス データ ゲートウェイ	●
	カスタム コネクタ	●
データの保存と管理	Common Data Service の使用権	●

¹ Power Automate の使用は、フローを埋め込む Power Apps アプリケーションに関連する利用枠内である必要があります。

² Power Automate の使用量は、フローを埋め込む Office 365 ライセンスに関連付けられたサービスの上限にカウントされます。使用量の上限の詳細については、<http://aka.ms/platformlimits> を参照してください。「Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン」を購入すると、1 日あたりのサービスの上限を引き上げることができます。

Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権

Dynamics 365 ライセンスには Power Automate の使用権が含まれており、Dynamics 365 アプリケーションをカスタマイズおよび拡張するために使用できます。

Dynamics 365 内での Power Automate の使用は、フローを埋め込む Dynamics 365 アプリケーションに関連する利用枠内に制限されています。トリガーとアクションの両方について、Dynamics 365 アプリケーションに含まれるフローは以下に接続できます。

- Dynamics 365 アプリケーションの使用権に含まれるデータ ソース
- Dynamics 365 アプリケーション本体 (組み込みのトリガー/アクションを使用)

埋め込んだフローが Dynamics 365 アプリケーションに関連する利用枠外の場合は、Power Automate のスタンドアロン ライセンスを購入する必要があります。

Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権の概要

プランと機能		Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権
フローの実行 ^{1, 2}	ワークフロー	●
	ビジネス プロセス フロー	●
データへの接続	標準コネクタ	●
	プレミアム コネクタ	●
	オンプレミス データ ゲートウェイ	●
	カスタム コネクタ	●
データの保存と管理	Common Data Service の使用権	●

¹ Power Automate の使用は、フローを埋め込む Dynamics 365 アプリケーションに関連する利用枠内である必要があります。

² Power Automate の使用量は、フローを埋め込む Dynamics 365 ライセンスに関連付けられたサービスの上限にカウントされます。使用量の上限の詳細については、<http://aka.ms/platformlimits> を参照してください。「Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン」を購入すると、1 日あたりのサービスの上限を引き上げることができます。

Office 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権

Office 365 ライセンスには Power Automate の使用権が含まれており、Office 365 アプリケーションをカスタマイズおよび拡張するために使用できます。

Office 365 内での Power Automate の使用は、フローを埋め込む Office 365 アプリケーションに関連する利用枠内に制限されています。トリガーとアクションの両方について、Office 365 アプリケーションに含まれるフローは以下に接続できます。

- Office 365 アプリケーションの使用権に含まれるデータ ソース
- Office 365 アプリケーション本体 (組み込みのトリガー/アクションを使用)

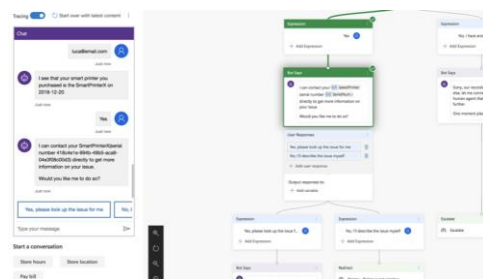
埋め込んだフローが Office 365 アプリケーションに関連する利用枠外の場合や、プレミアムのオンプレミスまたはカスタム データ ソースに接続する必要がある場合は、Power Automate のスタンドアロン ライセンスを購入する必要があります。

Office 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権の概要

プランと機能		Office 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権
フローの実行 ¹	ワークフロー	無制限 ¹
	ビジネス プロセス フロー	-
データへの接続	標準コネクタ	●
	プレミアム コネクタ	-
	オンプレミス データ ゲートウェイ	-
	カスタム コネクタ	-
データの保存と管理	Common Data Service の使用権	-
ライセンスあたりのキャパ	1 日あたりの API 要求 ¹	2,000

¹使用量のキャパシティは Power Apps と Power Automate の両方で共通です。「Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン」を購入すると、1 日あたりのサービスの上限を引き上げることができます。詳細については、<http://aka.ms/platformlimits> を参照してください。

Power Virtual Agents サブスクリプション



サービスの概要

Power Virtual Agents では、ガイド付きでコード不要のグラフィカル インターフェイスを使用して、強力なボットを簡単に作成することができます。データサイエンティストや開発者の力を借りる必要はありません。既存コネクタを使用してボットを数百のアプリやサービスに簡単に統合したり、Power Automate でカスタム ワークフローを作成し

たりすれば、ボットがお客様の代わりにアクションを実行できるようになります。ユーザーは、わかりやすいダッシュボードに表示される AI 駆動型およびデータ駆動型のインサイトを使用して、ボットのパフォーマンスを監視し、継続的に改善できます。詳細については、<https://powervirtualagents.microsoft.com> (英語) を参照してください。

ライセンスの概要

Power Virtual Agents アプリケーションでは、テナント単位でライセンスが提供されます。管理者は、Power Virtual Agents アプリケーションにアクセスするユーザーに対して、管理ポータルからユーザー ライセンスを割り当てる必要があります。Power Virtual Agents はテナント単位のライセンスであるため、Dynamics 365 インスタンスが 1 つあれば、Power Virtual Agents アプリケーションを 1 つインストール、使用、構成することができます。Power Virtual Agents の料金は「セッション」¹ 単位で請求されます (セッションの定義については以下を参照)。

テナント単位のオファーの概要	
SKU の名称	Power Virtual Agent
ライセンスの種類	テナント ライセンス

Power Virtual Agents の権利の概要

プランと機能		Power Virtual Agents の権利
フローの作成	ワークフロー	無制限 (Power Virtual Agents からトリガーされるフローのみが対象)
チャット セッション	セッション回数/テナント/月	2,000 回
データの保存と管理	Common Data Service の使用権	●
ライセンスあたりのキャパシティ	Common Data Service - データベース キャパシティ	10 GB
	Common Data Service - ファイル キャパシティ	20 GB
	Common Data Service - ログ キャパシティ	2 GB

¹セッションの定義:

セッションとは、お客様とボットのやり取りを指し、消費量の単位として使用されます。セッションは、作成したトピックがトリガーされた時点で開始されます。これらのセッションは、製品内では「請求対象セッション」と呼ばれます。セッションは、テスト環境と運用環境の両方で消費されます。

以下のいずれかのシナリオが発生した場合に、セッションが終了します。

- i. お客様の質問にすべて回答した場合
- ii. お客様が意図的にチャットセッションを終了した場合
- iii. ボットが十分な回答を提供できず、やり取りがエージェントにエスカレートされた場合

詳細については、[こちらのページ \(英語\)](#) を参照してください。

キャパシティの適用

購入した Power Virtual Agents キャパシティは 1 か月ごとに適用され、未使用のセッションを翌月に繰り越すことはできません。

超過使用分の処理

正当な理由があつて時おり超過する分には構いませんが、購入したキャパシティを超過する場合は、コンプライアンスを維持するために、標準的なマイクロソフトの使用条件に従って購入数量を調整してください。

お客様による Power Virtual Agents のキャパシティ管理をサポートするため、包括的な監視、レポート、アラート メカニズムが導入されます。使用量が購入したキャパシティを大幅に超える場合には、より厳格な技術的対応 (サービス拒否など) が行われます。

サブスクリプション キャパシティ

Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents サブスクリプションの既定のキャパシティは、同じテナントおよびインフラストラクチャを使用し、1 つのテナント全体で計上されます。Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents ライセンスを購入したテナントには、既定のキャパシティが提供されます。さらに、Power Apps per user、Power Apps per app、Power Automate per user、Power Automate per business process プランのライセンスごとに、テナントに追加のキャパシティが提供されます。

Power Apps のテナントあたりの既定のキャパシティ	ユーザーあたりの既定値	アプリあたりの既定値	ユーザーあたりの累計	アプリあたりの累計
Common Data Service のデータベース キャパシティ	10 GB	1 GB	250 MB	50 MB
Common Data Service のファイル キャパシティ	20 GB	2 GB	2 GB	400 MB
Common Data Service のログ キャパシティ	2 GB	200 MB	-	-

Power Automate のテナントあたりの既定のキャパシティ	ユーザーあたりの既定値	フローあたりの既定値	ユーザーあたりの累計	フローあたりの累計
Common Data Service のデータベース キャパシティ	1 GB	1 GB	50 MB	50 MB
Common Data Service のファイル キャパシティ	2 GB	2 GB	200 MB	200 MB
Common Data Service のログ キャパシティ	200 MB	200 MB	-	-

なお、お客様はフロー単位のプランで必要な数のフローを購入できます。フローごとにキャパシティの上限が引き上げられます。

Power Virtual Agents のテナントあたりの既定のキャパシティ	テナントあたりの既定値
Common Data Service のデータベース キャパシティ	10 GB

Common Data Service のファイル キャパシティ	20 GB
Common Data Service のログ キャパシティ	2 GB

Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Dynamics 365 Customer Engagement アプリケーションは、同じテナントおよびインフラストラクチャを使用します。Common Data Service のキャパシティ (データベース、ファイル、ログ) はテナント全体でプールされ、関連するアプリケーション ワークロード間で共有されます。

Common Data Service は、Outlook や SharePoint と統合できます。

Common Data Service のキャパシティ - キャパシティの種類と目的

種類	目的
データベース	エンティティの定義とデータを格納および管理します。
ファイル	Customer Engagement アプリケーションおよび Power Apps のメモやメールの添付ファイルを保存するために使用されます。これらの添付ファイルには、ドキュメント、画像ファイル、動画、PDF ファイルなど、組織で必要とされる重要なファイルが含まれます。
ログ	エンティティおよび属性データの変化を経時的に記録して、分析やレポートの目的で使用できるようにします。ログ キャパシティを使用すると、組織は監査、コンプライアンス、ガバナンス ポリシーを満たすことができます。

Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents、Dynamics 365 Customer Engagement のいずれかのサブスクリプションを初めて購入すると、そのテナントに既定のキャパシティの権利が 1 回のみ提供されます。たとえば、新規のお客様が「Power Apps per user プラン」を購入した場合、そのテナントには既定の 10 GB の Common Data Services データベース キャパシティが提供されます。追加のサブスクリプションを購入しても、テナントの既定のキャパシティは追加されません。

テナントに追加のサブスクリプションを追加すると、Common Data Service の追加のキャパシティが計上されます。

例

新規のお客様が最初に Power Apps per user ライセンスを 10 シート、Power Apps per app ライセンスを 20 シート購入したとします。この場合、テナント全体でプールされた合計キャパシティは以下のようになります。

既定および累計キャパシティの割り当て	テナントあたりの既定値	Enterprise USL 10 シートあたりの累計	テナント全体の合計キャパシティ
Common Data Service のデータベース キャパシティ	10 GB	10*250 MB + 20*50 MB = 3.5 GB	10 GB + 3.5 GB = 13.5 GB
Common Data Service のファイル キャパシティ	20 GB	10*2GB + 20*400MB = 28GB	20 GB + 28 GB = 48 GB
Common Data Service のログ キャパシティ	2 GB	なし	2 GB

キャパシティ アドオン

サブスクリプションで提供されるキャパシティを追加する必要がある場合 (データベースやファイル キャパシティの追加など)、サブスクリプションに以下のオプションのアドオン ライセンスを含めることができます。サブスクリプション アドオンはテナント全体に適用されるものであり、特定のユーザーに関連付けられるものではありません。サブスクリプション アドオンはいつでも購入でき、サブスクリプションの残りの期間を通してサブスクリプションの一部として使用できます。

Common Data Service のキャパシティ アドオン

Common Data Service を利用する Power Apps アプリまたはフローによって、データベース キャパシティ、ファイル キャパシティ、ログ キャパシティの消費量は異なり、必要な Power Apps および Power Automate 環境も異なる可能性があります。アプリでフローを利用する場合もあれば、アプリ

とは別にフローを実行する場合があります。

それぞれの種類のユーザー単位のライセンス (Office 365、Dynamics 365 アプリケーション、Power Apps および Power Automate プランのスタンドアロン ライセンス) には、これらの基本リソースのキャパシティが 1 種類以上含まれます。これらの権利は、お客様のテナント レベルでプールされ、ユーザー間で共有されます。

テナントあたりのサブスクリプション キャパシティ	追加購入単位
Common Data Service のデータベース キャパシティ	1 GB
Common Data Service のファイル キャパシティ	1 GB
Common Data Service のログ キャパシティ	1 GB

AI Builder キャパシティ アドオン

サービスの概要

AI Builder は、人工知能 (AI) の技術的な使用経験を問わず、あらゆる人々を支援します。このソリューションを使用することで、アプリとビジネス プロセスの両方に AI 機能を簡単に追加できます。AI Builder では、予測、名刺リーダーなど、さまざまなシナリオをサポートしています。AI Builder の詳細については、<https://powerapps.microsoft.com/en-us/ai-builder/> (英語) を参照してください。

ライセンスの概要

AI Builder のライセンスは、Power Apps および Power Automate のスタンドアロン ライセンスと Dynamics 365 ライセンスのアドオンとして提供されます。

AI Builder のライセンスは、キャパシティ ベースで提供されます。AI Builder のキャパシティは、「サービス クレジット」の形で示されます。サービス クレジットは、AI Builder でサポートされるすべてのシナリオで単一 (共通) の通貨となり、AI Builder サービスを使用した場合に使用可能なサービス クレジットが差し引かれます。シナリオ (フォーム処理、予測など) によってサービス クレジットの消費レートは異なります。

すべてのシナリオにおける使用量の予測に基づいて、適切な数の AI Builder キャパシティ アドオンを購入してください。

オファーの詳細	
SKU の名称	AI Builder キャパシティ アドオン
ライセンスの種類	テナント全体のキャパシティ ライセンス
権利	月 100 万のサービス クレジット
対象の基本ライセンス	Power Apps、Power Automate、Dynamics 365 ライセンス

各「AI Builder キャパシティ アドオン」には、月 100 万のサービス クレジットが含まれています。たとえば、(使用量の予測に基づいて) 月に 470 万のサービス クレジットを必要とする場合は、「AI Builder キャパシティ アドオン」を 5 つ購入します。

注:

- 購入したサービス クレジットは、Power Automate、Power Apps、Dynamics 365 アプリケーションに含まれる AI Builder モデルから使用できます。
- サービス クレジットは、トレーニング環境と運用環境の両方で消費されます。
- サービス クレジットはテナント全体でプールされます。

キャパシティの適用

AI Builder キャパシティ アドオン SKU の場合、購入したキャパシティは 1 か月ごとに適用され、未使用のサービス クレジットを翌月に繰り越すことはできません。

超過使用分の処理

正当な理由があつて時おり超過する分には構いませんが、購入したキャパシティを超過する場合は、コンプライアンスを維持するために、標準的なマイクロソフトの使用条件に従って購入数量を調整してください。

お客様による AI Builder のキャパシティ管理をサポートするため、包括的な監視、レポート、アラート メカニズムが導入されます。使用量が購入したキャパシティを大幅に超える場合には、より厳格な技術的対応 (サービス拒否など) が行われます。

購入したキャパシティの割り当て

購入したキャパシティの適切な Power Automate、Power Apps アプリケーション、Dynamics 365 ワークロードへの割り当ては、製品内で管理されます。割り当てにより、重要な AI モデルのキャパシティを確保できます。割り当ての最小キャパシティは 1 サービス クレジットです。

Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン

Power Apps、Power Automate、Dynamics 365 ユーザー/ワークロードが割り当てを上回る使用量のキャパシティを必要とする場合は、Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオンによって 1 日あたりの API 要求の上限を引き上げることができます。サービスの上限の詳細、および各種ライセンスに適用される 1 日あたりのサービスの上限については、<http://aka.ms/platformlimits> を参照してください。

オファーの詳細	
SKU の名称	Power Apps および Flow キャパシティ アドオン
基本ライセンス	Power Apps、Power Automate、Office 365、Dynamics 365 ライセンス
キャパシティの権利	ユニットにつき 1 日あたり 10,000 回の追加の API 要求
キャパシティの割り当て	製品内

キャパシティの適用

Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン SKU の場合、購入したキャパシティは 1 日ごとに適用され、未使用/未割り当ての API 呼び出しを翌日に繰り越すことはできません。また、割り当てられたキャパシティはユーザー/フロー固有のキャパシティとなります。

超過使用分の処理

正当な理由があつて時おり超過する分には構いませんが、ライセンスを取得したキャパシティを超過する場合は、コンプライアンスを維持するために、標準的なマイクロソフトの使用条件に従って購入数量を調整してください。

購入したキャパシティの割り当て

アドオン サブスクリプションを購入したら、テナント管理者は購入したキャパシティを特定のユーザーやフローに割り当てする必要があります。割り当ての最小キャパシティは 1 日あたり 1,000 回です。

Power Virtual Agents キャパシティ アドオン

Power Virtual Agents キャパシティ アドオンにより、テナントの 1 か月あたりのチャットボットセッションの上限を引き上げることができます。

オファーの詳細	
SKU の名称	Virtual Agents 用チャットセッション
購入要件	Power Virtual Agents
キャパシティの権利	テナントあたり月 1,000 回

トライアルと実装

無料トライアル

Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents の無料トライアルにサインアップできます。詳細については、以下を参照してください。

- Power Apps は[こちら](#)
- Power Automate は[こちら](#)
- Power Virtual Agents は[こちら](#)

Power Apps および Power Automate による開発とテスト

無料の Community Plan は個人使用を想定したもので、開発者は Power Apps、Power Automate、Common Data Service を学習し、スキルを習得することができます。詳細については、[こちら](#)を参照してください。

価格

Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents の価格表については、以下を参照してください。

- Power Apps: <https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/pricing>
- Power Automate: <https://flow.microsoft.com/ja-jp/pricing>
- Power Virtual Agents: <https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=2099502> (英語)

関連情報

リソース	リンク
Power Apps/Power Automate ライセンス ガイド	https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=2085130&clcid=0x409 (英語)
Power Apps サービス	https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/
Power Automate サービス	https://flow.microsoft.com/ja-jp/
Power Virtual Agents サービス	https://powervirtualagents.microsoft.com/ (英語)
Dynamics 365 ライセンス ガイド	https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=866544&clcid=0x409 (英語)
Dynamics 365 Business Central ライセンス ガイド	https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=871590&clcid=0x409 (英語)
Dynamics 365 Mixed Reality ライセンス ガイド	https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=2090495&clcid=0x409 (英語)

付録 A: 用語とカスタム エンティティ

管理: 管理は、組織内における Power Apps の使用に関する境界やポリシーを確立するうえで重要です。

- 環境の管理 - データ、アプリ、フローを保存、管理、共有する場所
- データ ポリシー - データの共有方法を定義するポリシーを作成、適用

アプリ (Power Apps per app の定義): 「アプリ」とは、特定のビジネス シナリオを解決する Power Platform 資産の組み合わせを指します。

- 各「per app」ライセンスにより、1 つのポータルと 2 つのカスタム アプリ (モデル駆動/キャンバス) の使用権が提供されます。
- 他のコンポーネント (フォーム、ダッシュボードなど) には上限はありません。

アプリケーション プログラム インターフェイス (API): マイクロソフトのサービスおよび関連ツールへのアクセスを提供する任意の形式のアプリケーション プログラミング インターフェイスです。たとえば、マイクロソフトのサービスを実行できるサンプル コード、マイクロソフトがこれらの使用条件の下で提供するドキュメントなどがあり、当該 API のすべての要素、コンポーネント、実行可能ファイルが含まれます。

アプリケーションの種類:

- **キャンバス アプリ:** 従来のプログラミング言語でコードを記述することなく、Microsoft Power Apps のキャンバスからビジネス アプリケーションをデザインおよび構築できます。アプリケーションをデザインするにはキャンバスに要素をドラッグ アンド ドロップし、アプリのレイアウトを完全に制御できます。
- **モデル駆動アプリ:** デザインは、データ モデルやビジネス プロセスを基盤とするアプリ開発のコンポーネント中心のアプローチです。デザイナーがアプリケーションのレイアウトを完全に制御できるキャンバス アプリの開発とは異なり、モデル駆動アプリの場合は、主にアプリケーションに追加するコンポーネントによって、レイアウトの大部分が自動的に決定されます。

Common Data Service: Common Data Service では、ビジネス アプリケーションによって使用されるデータを格納、管理できます。

コネクタ: ユーザーがビジネス データに接続し、既成のアクションやトリガーのセットを活用して、アプリケーションやワークフローを構築するための手段です。 **接続の例:** Common Data Service、SharePoint、SQL、OneDrive、Excel、Dynamics 365

- **標準コネクタ:** Microsoft 365 エコシステム内のデータ ソースに接続します。例: Excel、Outlook、SharePoint、LinkedIn 標準コネクタの一覧については、[こちら](#)を参照してください。
- **プレミアム コネクタ:** Microsoft 365 以外のビジネス システムに接続します。例: DocuSign、Zendesk、Jira Software
- **カスタム コネクタ:** よりカスタマイズされたシナリオをサポートするために、独自のトリガーやアクションを使用してカスタム コネクタを作成できます。これらのコネクタは関数ベースであり、基礎となるサービスの特定の関数の呼び出しに基づいてデータが返されます。 **例:** 既成コネクタとして利用できないサービス
- **オンプレミス コネクタ:** ゲートウェイを使用してオンプレミス データにアクセスします。 **例:** Microsoft SQL Server

CRUD: 作成、読み取り、更新、削除の各操作を指します。

エンティティ: データを格納するために使用されるレコードのセットです。テーブルがデータベース内のデータを格納するのと同様です。エンティティを使用すると、組織のビジネス アプリケーション内で使用するビジネス データをモデル化できます。エンティティの例: 取引先企業、取引先担当者、潜在顧客、営業案件

- **標準エンティティ:** Common Data Service では、あらゆるビジネス アプリケーションで特によく使用されるエンティティを表すビジネス エンティティのセットが標準で提供されます。 **例:** 取引先企業、予定、取引先担当者、メールなど

- **カスタム エンティティ:** 特定のビジネス ニーズに対応するためにお客様/パートナーが作成したエンティティです。たとえば、マシンの種類は標準エンティティにはないため、カスタム エンティティとして作成できます。
- **制限付きエンティティ:** フル アクセスのために Dynamics 365 ライセンスが必要なエンティティです。例: サポート案件、SAL、サポート情報記事。制限付きエンティティの一覧については、[こちらを参照してください](#)。
- **複雑なエンティティ:** サーバー側の複雑なビジネス ロジックを使用するエンティティです。お客様/パートナーがエンティティ (標準またはカスタム) をカスタム ビジネス ロジックに関連付けると、そのエンティティは複雑なエンティティになります。例: リアルタイム ワークフローまたはコード プラグインを使用するエンティティ

フロー (アプリに関連する利用枠内のフローの定義): トリガーとアクションの両方について、フローを埋め込むアプリケーションに含まれるフローは以下に接続できます。

- フローを埋め込むアプリケーションの使用権に含まれるデータ ソース
- フローを埋め込むアプリケーション本体 (組み込みのトリガー/アクションを使用)

ワークフロー:

- **バックグラウンド ワークフロー:** システムおよびサービス全体のタスクを自動化します。バックグラウンドで実行されます。
- **リアルタイム ワークフロー:** システムおよびサービス全体のタスクを自動化します。リアルタイムで実行されます。
- **ビジネス プロセス フロー:** 人間が操作できるステートフルな構造化ワークフローです。複数のステップから構成され、分岐/ステージ ゲーティングが可能で、プロセス KPI やレポートを含みます。

付録 B: プレミアム カテゴリに移動された標準コネクタ

Power Apps および Power Automate では、ビジネス データへのアクセスを提供するために、共通の既成コネクタのセットを利用しています。これらの既成コネクタは、各種サービス エディションの使用権に合わせて 2 つのカテゴリ (標準およびプレミアム) に分類されます。すべてのデータ コネクタの一覧については、[こちら](#)を参照してください。

Azure		Microsoft Dynamics 365	
Azure		Dynamics 365, Business Central	
<ul style="list-style-type: none">• Azure blob storage• Azure data factory• Azure data lake• Azure table storage• Azure file storage• Azure Cosmos• Azure Kusto• Azure Log analytics• Azure Log analytics data collector• Azure SQL• SQL Server	<ul style="list-style-type: none">• Azure IoT Central• Azure Container• Azure Application Insights• Azure Automation• Azure Resource Manager• Azure SQL Data Warehouse• Azure Event Grid• Azure Event Grid Publish• Azure Queues• Event Hubs• Service Bus• Azure DevOps		<ul style="list-style-type: none">• Dynamics 365• Dynamics 365 for Fin & Ops• Dynamics NAV (Preview)• Dynamics 365 Customer Insights (Preview)• Dynamics 365 Sales Insights (Preview)• Business Central (Preview)

付録 C: ライセンス チャンネルと対象セグメント

ライセンス	チャンネル						セグメント						
	EA	EAS	EES	CSP	MPSA	MOSP	企業	教職員	学生	教育機関	公共機関	政府機関	非営利団体
Power Apps per app プラン	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
Power Apps per user プラン	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
Power Automate per user プラン	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
Power Automate per business process プラン	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
Power Apps Portals ログイン キャパシティ アドオン	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
Power Apps Portals ログイン キャパシティ アドオン tier-2 ¹	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
Power Apps Portals ログイン キャパシティ アドオン tier-3 ¹				•			•	•	•	•	•	•	•
Power Apps Portals ページ ビュー キャパシティ アドオン	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
AI Builder キャパシティ アドオン	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
Power Apps および Power Automate キャパシティ アドオン	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
Common Data Service のデータベース キャパシティ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
Common Data Service のファイル キャパシティ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
Common Data Service のログ キャパシティ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•

¹ Power Apps Portals ログイン キャパシティ アドオン tier-2 および tier-3 SKU は、2019 年 12 月 1 日に提供が開始されます。

他のすべての SKU は 2019 年 10 月 1 日より提供が開始されます。

付録 D: Power Apps および Power Automate の機能を含む Dynamics 365 および Office 365 ライセンス

Dynamics 365

対象ライセンス	
Dynamics 365 Sales Enterprise	Dynamics 365 Supply Chain Management
Dynamics 365 Sales Professional	Dynamics 365 Retail
Dynamics 365 Customer Service Enterprise	Dynamics 365 for Talent
Dynamics 365 Customer Service Professional	Dynamics 365 for Talent: Onboard
Dynamics 365 Field Service	Dynamics 365 Unified Operations - Activity
Dynamics 365 Project Service Automation	Dynamics 365 Business Central
Dynamics 365 Team Members	Dynamics 365 Business Central Team Members
Dynamics 365 Finance	

Office 365

対象ライセンス	
Office 365 Business Essentials	Office 365 A5 for Students
Office 365 Business Premium	Office 365 Education E3 for Faculty
Office 365 A1 for Faculty	Office 365 Education E3 for Students
Office 365 A1 for Students	Office 365 Education for Homeschool for Faculty
Office 365 A1 Plus for Faculty	Office 365 Education for Homeschool for Students
Office 365 A1 Plus for Students	Office 365 Enterprise E1
Office 365 A3 for Faculty	Office 365 Enterprise E2
Office 365 A3 for Students	Office 365 Enterprise E3
Office 365 A3 for Student Use Benefit	Office 365 Enterprise E3 Developer
Office 365 A5 for Student Use Benefit	Office 365 Enterprise E3 without ProPlus
Office 365 A5	Office 365 Enterprise E5
Office 365 A5 for Faculty	Office 365 Enterprise F1

付録 E: 変更履歴

ページ	項目	変更点	対応	日付
すべて	Power Automate	更新	Microsoft Flow を Power Automate に名称変更	2019 年 12 月
すべて	Power Apps	更新	PowerApps を Power Apps に変更	2019 年 12 月
4	Power Apps per app プラン - 学生用ライセンス	追加	教育機関のお客様に Power Apps per app プランを教職員および学生向け料金で販売	2019 年 12 月
1、2、12、16	Power Virtual Agents	追加	Power Virtual Agents の一般提供開始に伴い、ライセンスの販売を開始	2019 年 12 月
4	Dynamics 365 に含まれる Power Apps の使用权	明確化	Dynamics 365 アプリケーションと同じ環境内に使用权が含まれている	2019 年 11 月
11	Common Data Service の統合	追加	Outlook や SharePoint と統合できる	2019 年 11 月
12	AI Builder	明確化	Power Apps および Flow と Dynamics 365 ライセンスのアドオン	2019 年 11 月
4-7	Power Apps の各プラン	新規	機能	2019 年 10 月
7-9	Power Apps Portals	新規	機能	2019 年 10 月
9-13	Flow の各プラン	新規	機能	2019 年 10 月
14	AI Builder キャパシティ	新規	キャパシティ アドオン	2019 年 10 月
15	Power Apps および Flow キャパシティ	新規	キャパシティ アドオン	2019 年 10 月

© 2019 Microsoft Corporation. All rights reserved.

このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。この情報はライセンスを受けた製品を正しくご使用いただくためのガイドであり、お客様との契約ではありません。ライセンス契約に基づきライセンスを受けた製品の使用については、当該契約に定める契約条件に規定されます。この情報と契約の間に齟齬がある場合は、契約の条項が優先されます。マイクロソフトのリセラーを通じて取得するライセンスの価格は、代理店によって決定されます。